

この予定表は一般的・標準的な治療の経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により多少変わることがあります。

年 月 日

項目	時間枠 月 日 (手術前日)	手術日 月 日	
		手術前	手術後
患者目標	手術に向けて、体の準備、心の準備ができる。 手術後必要な物品の準備ができる (T 字帯、バスタオル1枚、ストロー又は薬のみ)。 手術後の経過が理解でき、不明点があれば医療者に質問し、解決できる。 家族は手術当日の来院時間、場所が分かる。	手術に向けて、体の準備、心の準備ができる。 手術前準備 (注射、内服、更衣など) が看護師と一緒にできる。 食べたり飲んだりしないことが守れる。	手術後必要な処置を受け入れることができる。 (血尿がある場合は尿の管から膀胱の中を洗います)。 管の違和感、痛み、吐き気や頭痛などの症状が出現した時、医療者に伝えることができる。 手術後の禁止事項 (指示があるまで歩行できないこと、尿の管は医師の指示があるまで抜去できないこと) などが守れる。 安静解除後に自力歩行ができる。飲水が誤嚥なく行える。食事開始後は半分以上摂取できる。
治療処置	夕食後か寝る前に、下剤の薬を飲みます。	手術室は3階です。 手術は、 番目です。一番目の方は、8時頃に手術室へ行きます。 二番目以降の方は、連絡が来てから手術室へ行きます。 朝、浣腸を行います。	医師の指示で、酸素マスクをつける事があります。 痛みがあるときは痛み止めを使いますので、お知らせください。
検査	特に予定をしている検査はありません。検査があれば、随時お知らせします。		
患者様及びご家族への説明	主治医、病棟看護師から入院後の予定や手術の追加説明について説明があります。 手術を担当する麻酔科医、手術室看護師から、手術中の事について病室で説明があります。	ご家族は、手術開始 30 分前には、直接病棟へおこしてください。 手術中ご家族は、7階のデイルームまたはお部屋でお待ちいただけます。 手術終了までは、どなたか必ず食堂またはお部屋に待機していただくよう、お願い致します。	ご不明などありましたら、遠慮なくお尋ねください。
検温	入院時に検温 (熱、脈拍、血圧測定) を行います。	朝、浣腸前に検温をします。	手術後は適宜、検温をします。
安静度 (活動)	特に制限はありません。		医師の指示があるまでベッド上で安静に過ごします。 用件時は、ナースコールを押してください
排泄	特に制限はありません。 便秘症の方はお知らせください。	朝、浣腸を行います。	尿の管は入れたままです。
食事	食事はお部屋にご用意します。 食べ物は 21 時まで、水分なら 0 時まで摂取は可能です。 (朝食 7 時頃、昼食 12 時頃、夕食 18 時頃)	飲んだり、食べたりできません。	手術後、医師の指示で、水分摂取 (水、お茶など) ができます。 午前中手術の方は、医師の指示で夕方より食事が開始となります。
清潔	入浴またはシャワーに入り、髪を洗いましょう。 爪が伸びている場合は、切りましょう。 マニキュアなどしている場合は、落としましょう。 入院後、女性は化粧を落としましょう。 (顔色などを見るため)	手術前は制限はありません。(洗顔、歯磨き可)	手術後は、入浴・洗髪はできません。 歯磨きはできます。(看護師がベッドにご用意します)
薬剤	入院の際、内容確認のために普段飲んでいる薬 (医師から処方された薬) を、一度預かります。 続けて薬を飲む場合は、説明します。	普段飲んでいる薬は、医師の指示がなければ内服しません。 手術前に腕から点滴をします (朝一番の手術の場合、手術室で点滴をします。)	食事が開始になれば、薬も始まります。 ただし、薬を飲まない場合は、再度お知らせします。 点滴はそのまま続けます。
手続きその他	診断書などの書類に申請がある場合は、外来棟の支払い窓口で書類と一緒に提出しましょう。 (書類にはお名前、生年月日を事前にお書きください)	時計、コンタクト、指輪、入れ歯、などつけているものをすべて取り外して手術衣に着替えます。 肺塞栓予防のストッキングをはきます。 (手術衣、肺塞栓予防のストッキングは病院で用意します)	手術当日は、肺塞栓予防のストッキングは着用したままです








入院から退院までの流れ (No.2)

病名： 膀胱腫瘍

術式：経尿道的膀胱腫瘍切除術

この予定表は一般的・標準的な治療の経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により多少変わることがあります。

年 月 日

時間枠 項目	手術後 1 日目 月 日	手術後 日目 月 日	退院後から再診日までの注意事項
患者 目標	手術後必要な処置を受け入れることができる (尿の管が入っています)。 創痛、頭痛などの症状が出現した時、医療者に伝えることができる。 飲水が 1000ml/日摂取でき、食事が半分以上摂取できる。	血尿の有無を観察し、血尿がある場合は医療者に伝える事ができる。 疼痛、頭痛など自覚症状出現時、医療者に伝えることができる。 点滴抜去後飲水が 1000~1500ml/日以上摂取できる。 退院後の日常生活注意事項、外来受診の必要性が理解でき、実施できる。	
治療 処置	診察を行います。 痛みがあるときは痛み止めを使います。		<感染予防> 膀胱炎など尿路感染症が起きる可能性があります。 水分を多めに (1日 1000~1500ml 目安) 取るようにしましょう。 38 度以上の発熱や、トマトジュースのような血尿がありましたら、ご連絡ください。
検査	予定をしている検査はありません。	予定をしている検査はありません。	
患者様 及び ご家族へ の説明	診察時に手術の結果をお話しします。	退院後の注意事項についてご説明します。 (主治医、病棟看護師)	<出血予防> 退院 2 週間後くらいに血尿が出ることがあります。 退院後 2 週間は尿の状態を観察しましょう。 血尿は一時的なものであれば心配いりませんが、 トマトジュースのような血尿でしたらご連絡ください。 激しい運動は 2 週間は控えてください。散歩はできます。 長風呂、温泉、サウナは 2 週間は控えましょう。
検 温	適宜検温をします。	午前に検温をします。	
安静度 (活動)	手術後最初に歩行する方は、看護師と一緒に歩きます。 その後ふらつき、気分不快などなければ、一人で歩けます。 尿の管が入っているときは、歩行時に引っ張らないよう 気をつけてください。 	制限はありません。	
排 泄	尿の管が入っています。 	見目で血尿がなければ尿の管は抜きます。 尿の管を抜いた後、尿の観察をするためにカップにとっていただきます。 4 時間たっても尿が出ない場合や、トマトジュースのような血尿がある時は お知らせ下さい。	<食事・嗜好品> お食事の制限はありません。 お酒は、手術後 2 週間は飲まないでください。 
食 事	食事をお部屋にご用意します。	食事をお部屋にご用意します。	<内服> 処方された薬は、退院後なくなるまで飲み忘れないようにしましょう。
清 潔	体を蒸しタオルで拭きます。(タオルは看護師がお持ちします) 歯磨き、洗髪、ひげ剃りはできます。	点滴が抜ければ、尿の管が入ったままでもシャワーに入れます。 お湯にはつかれません。  	<受診> 再診日は必ず受診してください。 帰宅後、初回再診日の変更を希望される場合は、 総合予約室までご連絡ください。 退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安なことがありましたら、 下記連絡先に、お電話をください。
薬 剤	食事が開始になったら、薬も再開となります。 ただし、続けて中止する場合は、再度お知らせします。 点滴はそのまま行いますが、朝食が摂取でき、 発熱やトマトジュースのような血尿がなければ、点滴を抜きます。	医師の指示で内服薬を内服して下さい。	
手続き その他	肺塞栓予防のストッキングを脱ぐ際には看護師からお知らせします。	入院費は退院日に精算となります。前もって金額が知りたい方は、看護師ま たは事務員にお知らせ下さい。	 宮崎大学医学部附属病院 泌尿器科外来 0985-85-9317 泌尿器科病棟 0985-85-1898 総合予約室 0985-85-1225 ※時間外は病棟に電話をおかけください